

第4章 福岡市墓地・納骨堂アンケート調査結果による需要予測

1 需要の予測方法

令和2年6月25日～令和2年7月9日、福岡市市長室広聴課「第1回市政アンケート」において市民の墓地・納骨堂に関する意識調査を行った。

アンケート調査の概要

①調査対象	第1回市政アンケートに回答した30歳以上の福岡市民
②調査方法	郵便による送付・回収
③調査期日	令和2年6月25日～令和2年7月9日
④送付数	622通（うち調査対象者464）
⑤回収結果	有効回収数 464通（回収率 74.6%）
⑥集計・分析	株式会社 サーベイリサーチセンター 九州事務所

調査結果から得られた値及び福岡市の統計資料からの値から需要数を予測する。

需要予測の計算方法は以下の推計式により算出した。

$$\text{需要数} = \text{将来の死亡者数（予測値）} \times \text{定着志向係数} \times \text{必要者割合}$$

将来の死亡者数：国立社会保障・人口問題研究所（平成30年3月1日現在）市区町村別仮定値データ

定着志向係数：第1回市政アンケート調査において、定住志向の項目で「住み続けたい」と回答した人の割合

必要者割合：第1回市政アンケート調査において、墓地取得意向に関する項目で「墓地の取得を具体的に考えている」と回答した人の割合

2 第1回市政アンケートによる需要予測結果

年	将来の死亡者数 (人)	定着志向係数 (%)	墓地・納骨堂必要割合 (%)	需要数 (1人未満四捨五入)	
				5年あたり	1年あたり
2021～2025	72,054	82.8	4.5	2,685	537
2026～2030	80,749	82.8	2.6	1,738	348
2031～2040	187,432	82.8	1.3	2,018(10年)	202

第1回市政アンケート調査の結果に基づいて算出された墓地・納骨堂需要予測結果は表のとおりである。この結果より、市民の墓地・納骨堂の必要数は、2021年から向う5年間は、537基/年、2026年から5年間は、348基/年、2031年から10年間は、202基/年となっている。